

世田谷・九条の会

世田谷・九条の会

ニュース No.40

2016年2月5日発行

(題字 西山簡石)

●事務局 〒154-0017 世田谷区世田谷 1-11-16 世田谷民商気付

Tel 03-6413-9547 Fax 03-6413-9548

●ホームページ <http://www7a.biglobe.ne.jp/~setgagaya-9jou>

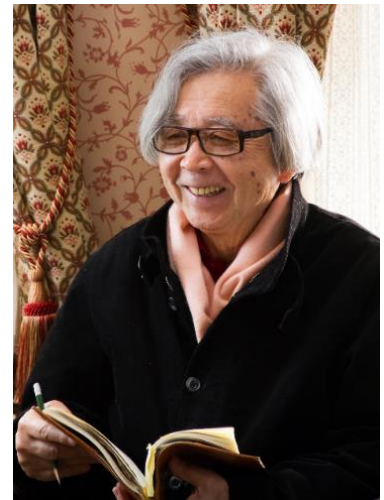
●郵便振替口座 記番号 00110-5-260741 世田谷・九条の会

あ の 頃

山田 洋次

「これからの日本は東洋のスイスになるのだ」

敗戦直後によく言われた言葉である。思えば70年前、焼け跡に住居も着る物もなく食うや食わずの難民のような悲惨な飢餓の暮らしのなかの日本人にとってこの言葉はどれほど希望にあふれた美しいイメージを抱かせてくれたことだろうか。スイス——戦争をしない永世中立の平和な国。中学生のぼくにはチョコレート箱に描かれたアルプスが見える美しい牧場の国といった程度の知識だったが、遠い未来にそんな豊かで穏やかな暮らしがこの国に実現するのかもしれないという夢をあの頃の貧しい日本人は等しく思い浮かべたものである。そして戦争をしない国になるということ。そ



それは間もなく制定された新憲法に明確に定められたことを、それまで『修身』の代わりに新しくできた『社会』という授業で栄養不足の痩せこけた若い教師にぼくたちは熱を込めて教えられた。民主主義の政治は三権分立であること、何より個人の尊厳が大切にされそれは国家の利益より優先すること、成人は男女の区別なく選挙権を行使できること（旧憲法下では女性は選挙権がなかった！）。腹ペコだったが民主主義の授業はどの科目より新鮮で魅力的だったものだ。

あの頃アメリカの上院議員だった、教育基金で有名なフルブライト氏が語った言葉をぼくは今思い出す。「——私が望むのは日本が大国にふさわしい知恵と金、人材を提供して世界平和のために貢献してほしいということだ。平和維持に軍事力以外の方法があることを身をもって示し、米国に範を垂れてほしいと願っている」

(映画監督 世田谷・九条の会呼びかけ人)

「戦争法案」廃止に向け、2016年の新たなたたかいを！

1.24 世田谷区内九条の会交流集会

1月24日（日）、2016年の新たなたたかいを誓って、区内九条の会交流会が開かれました。この交流会には、砧・大蔵、桜丘、成城・祖師谷、喜多見、代田、まつざわ、弦巻・新町、代沢の各地域九条の会と世田谷・九条の会の9団体から代表が参加しました。



交流会には、九条の会東京連絡会事務局の柴田桂馬さんに来ていただき、冒頭に安保関連法採決強行後4ヶ月の情勢についてお話しいただきました。安倍首相は、年頭の記者会見で、この夏の参

院選の質問に関連して、「憲法改正については、これまで同様、参議院選挙でしっかりと訴えていくこととなります。同時に、そうした訴えを通じて国民的な議論を深めていきたいと考えています」と答え、政権与党で2/3以上の議席を確保し、改憲発議に踏み込むことをあからさまにしました。3月の安保法制の施行後には、南スーダンへ「駆けつけ警護」が予想されています。しかし、現行憲法のもとでは「自衛隊は軍隊ではない」ために、相手を殺傷すればテロリストとみなされかねず、また捕虜となった場合は国際法の保護が適用されないという問題が残されています。したがって明文改憲して軍隊として派遣・戦闘を可能にするのが次の段階だということです。もう一点、改憲案にある緊急事態条項が要注意だと指摘されました。地震などの災害時を例示しながら、内閣の判断で基本的人権を制限する憲法停止状態を作り出すことが可能となるからです。

こうした安倍政権の暴走に対して、国民のたたかいは粘り強く続けられています。とくに注目されるのが、昨年12月20日に発足した「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」（市民連合）です。1月23日（交流会前日）に北区で開かれたシンポジウムには1300人が集まりました。総がかり行動実行委員会や学者の

会、ママの会、SEALDsなどが作った「市民連合」の理念は、2000万統一署名を基盤として安保法制廃止と立憲主義回復の世論の高揚をはかること、個人の尊厳を大事にする政治を進めるために、この夏の参院選では統一候補者を推薦・支援できるよう野党共闘を追求することです。柴田さんは、都内の九条の会のうち、とくに調布九条の会の活動を取りあげました。調布では、町ごとに世帯数をカウントして必要なビラと署名用紙を配布し、伝言板ニュースを発行して運動の広がりを図っています。このように地域訪問を含め、多様な方法で重複をおそれず、運動を広げていく、九条の会らしい活動を展開することが期待されていると結びました。

引き続き交流会では、砧・大蔵、桜丘、成城・祖師谷、喜多見、代田、まつざわ、弦巻・新町、代沢の順でこの間の活動が紹介されました。

このうち、砧・大蔵では、世話役が2名になってしまったが、署名だけ



はやりぬこうと考えていること、喜多見では、独自に8ページ立ての小さなパンフレット「私たちはあきらめない。安保法（戦争法）廃止を求めて・・・」を作成し、大きな横断幕を掲げながら、駅頭宣伝で配布して、共感を得ていることが紹介されました。また桜丘九条の会では、市民の中に東アジア地域でのいくつかの国の軍事行動に漠然とした不安がある中で、「抑止力」宣伝をどう考えるか、議論したとの報告がありました。新婦人の会では、目標5,000に対して1/7現在で1,567まで来ているとの情報もいただきました。

昨年秋以降、年明けにかけて、各地域九条の会、また世田谷・九条の会事務局は、それぞれ駅頭での宣伝・署名活動、地域デモ（パレード）、学習活動を独自、または地区労や区労連・区職労などの労働組合などと協力して活発に展開してきました。この活動の中で共通して聞かれたことは、数名で1時間程度の宣伝活動により数十筆の署名が寄せられること、方法としては、にぎやかで明るい街頭宣伝が効果的であること、署名用紙を会員に配布（送付）して、集める人を「拡散」し、これを集約することで飛躍的に署名数を増やすことができるということでした。世田谷・九条の会では、12月はじめ、会員約500名に訴えと署名用紙を送りました。1/24の

時点では、弦巻・新町九条の会からの送付分とあわせて、440筆の署名が寄せられています。これに成城・祖師谷九条の会が直接送付した分、また当日持参いただいた弦巻・新町、代田の署名との合計は768筆に達しました。

交流会の席上で、昨年6月、9月と区民集会・パレードを主催してきた「戦争させない！九条こわすな！世田谷連絡会」から、2月7日に区内三駅頭で、「戦争法」に反対した区議にも呼びかけて一斉の署名・宣伝活動を計画していることが紹介されました。「連絡会」は、地区労・区労連・1000人委員会と世田谷・九条の会が幹事団体となって事務局を構成し、保坂区政を生み出した世田谷の革新共同を推し進める母体となっています。また、「連絡会」を構成する団体の中では、2000万人統一署名の促進と集約を目的とした世田谷推進委員会が発足し、ニュースを発行しながら諸団体の協同を呼び掛けています。

11/7 世田谷・九条の会 10周年記念のつどい

11月7日（土）、世田谷区民会館集会室で、世田谷・九条の会 10周年記念のつどいが開かれました。土曜日の昼という時間帯でしたが、およそ140名の方が参加して、南部合唱団の歌と、総がかり行動実行委員会の高田健さんのお話に聞き入り

世田谷区民会館集会



ました。世田谷・九条の会は、2005年3月に区内在住の35氏の呼びかけで創立されたので、誕生から10年半ということになります。

南部合唱団は、手作りの憲法前文と九条をポスターとして掲げながら、憲法の歌を披露してくれました。最後には、唱歌としてなじみ深い「里の秋」や「小さい秋みつけた」を全員合唱で和ませてくれました。

高田さんのお話では、この夏の「戦争法」反対運動を、統一行動として築き上げた「総がかり行動実行委員会」の舞台裏の苦労話が紹介されました。

営々と野党各党間の協働を追求して、最終段階では、5野党がしっかりと手を握り合う場を作り上げたこと、集会やデモ参加者の安全と、国民の権利としての国会前での要請行動を成功させるために、国会前の道路を開放させたり、数多くの医師や

弁護士を配置して緊急事態に備えたりしたことを、ユーモアたっぷりに話されました。この夏猛暑の中、また雨の中、昼夜を問わず何度となく国会前に足を運んだ私たちとしては、頭の下がる思いでした。高田さんは、60年安保、70年安保闘争との比較にふれて、今年たたかいは、組織に属さない市民や若者が大きな役割を果たしたこと、非暴力を貫いたことで、初めてデモや集会に参加する人が、次々に生まれたこと、国会で強行採決・成立したときでも、挫折感がないことが最大の特徴だと指摘しました。その上で、「同円多心」ということばをあげて、同じ目標に向っては、互いの立場に寛容であることを強く訴えられ、始まったばかりの2000万人統一署名活動を来年5月までにやりきろうと強く呼びかけました。



つどいに参加され方の感想では、しばしば「分裂」に悩まされてきた平和運動だが、今回の戦争法反対運動では、何よりも統一を大事にして辛抱強く各方面に働きかけて来られた、高田さんら総びかり行動実行委員会の努力に感謝するとともに、高田さんの話でこれからのたたかいに勇気を与えられたという声が多く聞かれました。なお寄せられた感想は、世田谷・九条の会ホームページの掲示板欄に掲載されています。

世田谷区内各九条の会からの活動報告

九条の会・まつざわ

戦後70年 激動の年が暮れようとする2015年12月5日〈九条の会・まつざわ〉はこの一年間の学習の総まとめを兼ねて金子勝先生（立正大学名誉教授）を講師に学習会を開催しました。また会として初めての試みとして先生を含む参加者の皆さんとお弁当を食べながら懇親会を開き、交流を深めることができました。

[憲法学習会の報告]

以下金子先生の論点概要を報告致します。

- ① 2015年9月19日に暴力的に成立させられた「安保法制」に対して、「戦争法制」では、その危険な実態を真に表現していることにはなりません。実態は「侵略戦争法」であることをきちんと認識することが極めて大切です。
- ② なぜならば一括して「安保法制」と呼ばれる「平和安全法制整備法」（現行10本の法律をまとめて改定した一括法）と「国際平和支援法」とは、2014年7月1日に閣議決定した集団的自衛権行使容認を実行可能にするための法整備だからです。国会論議で国民の理解が得られ無いまま内閣の恣意的解釈で憲法の根幹を否定したことはまさに‘憲法クーデター’と呼ぶにふさわしい反立憲主義的暴政です。
- ③ さらに私たちは今回の「安保法制」を戦後の日米関係の歴史的流れを踏まえて把握することも大切な視点です。つまり少なくとも1960年6月23日発効の『日米安全保障条約』からはじまり、2006年6月29日発表の「21世紀の地球規模での協力」をうたった『新世紀の日米同盟』、2015年4月27日に先行合意された『新ガイドライン』とセットで捉えることが大切です。
- ④ しかしこれら覇権主義的潮流に対して、世界史に脈々と流れる近代市民社会の立憲主義精神は日本国憲法の神髄として受け継がれています。

第十二条「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない」とは、まさに国民自らがその自由と権利を守るために、それらを真に保障する政治を実現するために不断の努力をする責務と権利をうたったものです。

私たちは、反立憲主義的暴政によって制定された違憲の侵略戦争法を廃棄するために、確信を持って取り組みを広めていこうではありませんか、平和を次世代にバトンタッチするためにも。

[初めての懇親会]

とても熱の入った金子先生の学習会の後、ほっかほかの「エビ天ぷら弁当」に舌鼓しながら情勢論議や近況報告などに花が咲き、楽しい一時を過ごすことができました。なお、会では、2月13日（土）にも10時から、金子先生をお招きして、「第九条の危機と希望—平和のバトンタッチのために」と題する学習会を桜上水南地区会館で開催すること



にしています。

代沢九条の会

代沢九条の会では、地域の約 240 名の方々の賛同を集めて、昨年 9 月 19 日に『世田谷区代沢・北沢地域住民ほかによる安保法制法案の廃案を要求する声明』を発表しました。安保関連法が成立してしまった今、総がかり行動実行委員会の呼びかけによる廃止を求める全国統一署名に奮闘中です。目標を 3000 筆としています。とりわけ、反対声明の賛同者のかたから署名を拡げていただくようお願いしています。

また、毎週木曜日夜に 1 時間程度、地元の井の頭線の池ノ上駅前でチラシをくぶりながら署名の呼びかけをしています。若い人はチラシをほとんど受け取りません。どう思っているんだろう？と考えてしまいます。子供連れのお母さんたちが受け取ってくれると嬉しくなります。立ち止った後、つかつかと署名に寄ってくれると嬉しさは倍増です。世の中ではおかしなことがすすんでいると気づき、一票の意志表示をする人が増え、政治が変わっていく。そのために私たちが出来ることを考え、実行していきましょう。

憲法 9 条に愛され憲法 9 条を愛する烏山地域の会

1. 1 月 24 日の交流会当日は烏山地域でピースパレードが計画されており、交流会の出席者を確保できない状況です。つきましては文書で報告します。

2. 10 年前に誕生した烏山地域の会は、昨年 7 回の烏山ピースパレード、毎月 9 日の宣伝行動、憲法記念日の行動や学習会に取り組んで来ました。

3. 署名は 11 月に以前の署名（戦争法廃止）を全会員（240 人）宛に送付したところですが、12 月末に新しい署名用紙（総がかり）を再度全会員に配布したばかりで集約はこれからです。現在、以前の署名とあわせて毎月の 9 の日宣伝で集めた署名他で 200 筆ぐらいはあるようです。目標は 1000 筆 程度を考えています。署名の提出先は新たに発足した「世田谷署名推進委員会」にと確認しています。



4. 今後の計画は以下のとおりです。

(1) 毎月の「9 の日」宣伝とは別に地域諸団体共同の宣伝を準備しています。とりあえず烏山9条の会、新婦人烏山ブロック、年金者烏山分会、さよなら原発烏山地域の会の呼びかけで実施する予定です。団地とか路地裏とか考えられますが、当面毎月「19日」に烏山駅頭宣伝を考えています。

(2) 8月まで毎月ピースパレードを予定しています。毎月コースを変え地域内全体をカバーする予定です。2月は21日を予定しています。

(3) 3月13日(日)午後、沖縄問題の学習会(40人規模)を準備しています。

(4) 5月3日の記念日はこれまで同様、烏山区民センターで100名規模の集いを準備中です。講演講師は栗田禎子氏(千葉大学教授)に内定しています。演題は「アラブ世界と戦争法」(仮称)です。

(5) 学習・宣伝のポイント

①全面的な改憲の策動に対して、烏山9条の会としては9条にとどまらず自民党改憲草案の中身を知らせていきます。特に「基本的人権」を切り口に改悪の企みを明らかにしていきます。

②「戦争と軍備が抑止力」という「安全神話」を克服しなければならないと考えます。そのためにも最近の戦争の理解や過去の「歴史認識」が重要と考えます。この点での学習を引き続き継続する予定です。

(1) 全面的な改憲策動が日程に上がっているもとで、世田谷9条の会が過去10年間の活動をふまえて今後どうするか検討がされることを期待します。政党の運動とは違う大衆的な「市民運動」のスタンスや条件を生かしての活動があるはずです。

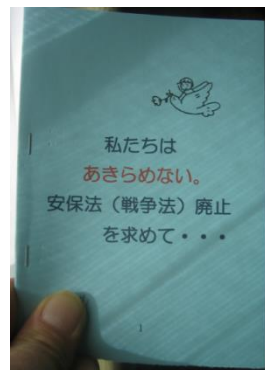
(2) 全面的な闘いにむけ全ての地域をカバーする「草の根9条の会」の組織と運動をなんとしても築くことが求められています。地域草の根で署名活動、ピースパレード、学習会などを持続的、系統的に進める9条の会という専担組織を作ることなしに先には進めません。一過性の運動ではありません。

(3) 全面的な闘いに向け、釈迦に説法ですが、活動家が憲法闘争の意義をあらためて理解することが必要ではないでしょうか。「立憲主義の回復」が叫ばれていますが、現在の日本が「共和制」国家であることがどれだけ理解されているのでしょうか。国民の中に共和制への確信がない様に思えます。国民主権を保障するのは共和制であることを確信にする必要があります。元号、日の丸、君が代、祝日、「慰霊」など特異な君主制の遺物がまかり通っています。安倍政権が狙っているのは共和制から「立憲主義」など必要がない「君主制」国家への回帰ではないでしょうか。

(文責 安藤)

喜多見 9 条の会

原則として 9 条の会事務局会議は第 3 土曜日に開いています。政治情勢を話し合い、次の行動を決めています。会では、「戦争法廃止を求めて」のミニパンフ（右写真）を作成していて、現在第 5 版になります。駅頭宣伝は 2-3 ヶ月の 1 度の割で実施し、2000 万人署名の呼びかけと上記ミニパンフを配布しています。総がかり行動実行委員会作成の横断幕など一式を購入し、近々駅頭宣伝に使用する予定でいます。



成城・祖師谷 9 条の会

連続講座「憲法を学ぶ会」Part I の終了

昨年 4 月から慈恵医科大学小澤隆一先生をお招きして始めた連続講座「憲法を学ぶ会」は、計 7 回、延べ 300 人の参加者があって好評のうちに 11 月に終了しました。日本国憲法の条文と合わせて憲法の歴史、2012 年自民党改憲草案、安保法制の国会での審議内容など幅広く憲法との関連で講演内容を聞くことができ、参加者のアンケートにも好評の声が多数寄せられました。

今年も昨年に引き続いて Part II の実施を予定しています。2000 万人署名を成功させる活動と合わせて安保法制廃止や予想される憲法改正の国民投票に向けて、日本国憲法および安保法制の問題などについて地域で多くの方々と一層理解を深めていきたいと考えています。

安保法案反対、安保法制廃止を求めるデモ

2015 年 9 月 11 日ピースデモー1(31 人)、

2015 年 11 月 19 日ピースデモー2(19 人)

署名活動

2014 年 4 月～ 「憲法九条にノーベル平和賞を」

2000 万人署名 1 月 23 日現在 156 筆 (送付済み分のみ)



今後の予定 (いずれも 15 時スタート)

① 署名/デモ

2/16 (火) 成城学園駅前署名活動

2/19 (金) 祖師谷地域デモ

3/15 (火) 祖師谷大蔵駅前署名活動

3/19 (土) 成城地域デモ

4/19 (火) 成城学園駅前署名活動

② 「憲法を学ぶ会」 Part II

3/27 (日)、5/29 (日)、7/3 (日)

③ 会員や地域での配布チラシ(「9の日」チラシ)作成

弦巻・新町九条の会

弦巻・新町九条の会には、100人ほどの会員がいます。これまでのべ42回の学習会を開き、街頭署名活動を続けてきました。署名数を増やすために署名用紙と訴えを200セット作成し、会員に送付しました。署名用紙の返送先は世田谷・九条の会としているので、そちらに送られてきた分は集約されていますが、残りの回収をどう進めるか、手順を検討しているところです。街頭署名では、高校生や中学生が署名してくれるなど、若い人も関心を寄せてくれていることに勇気づけられています。

代田・九条の会

代田・九条の会は、昨年11月6日に「7周年のつどい」を開き、小澤隆一さんの講演会に60名余が参加しました。署名活動は大体月2回のペースで下北沢駅で続けています。会員に署名用紙を配り、また学生時代の友人に呼びかけるなどして、60筆戻ってきたりすることもありました。近所の友人・知人を訪ねて歩き、1人で116筆集めた人もいます。6人に1人の割合で行くと、代田地域では、大体3000~3500人になりますが、当面の目標として2000筆を置き、2月末までに1000、4月までに2000筆を達成することを考えています。



1/9に新年会を開き、年頭の情勢について討論したうえで、2016年の活動計画を決めました。世話人事務局会議、ニュースの発行は月1回、大きなつどいとして、5月7日に憲法記念日によせて、また11月3日には、8周年のつどい開き、それぞれ講演と文化企画を予定しています。小規模のつどいとしては、4月に戦争遺跡めぐり、8月の終戦記念日には「戦争体験を語り継ぐ会」を予定しています。

その他九条の会々員参加の行動

桜丘地域では、会員の呼びかけで「チトフナ Peace DEMO 実行委員会」を作り、千歳船橋駅商店街での署名活動とパレードを、これまで 5 回呼びかけて実施してきました。9 条の会会員自体の参加はあまり多くありませんが、SNS で聞きつけた人などが日野市や八王子市など遠方から駆けつけてくれて、毎回 20-30 名規模でなごやかな雰囲気デモとなっています。激しいコールなどは控えて、私たちの声を伝えることに重きを置いています。また事前にチラシを戸別配布することによって、商店の人などが手を振ってくれるなど、良い反応があります。デモの前に駅頭での署名宣伝活動もしていますが、パレード途中でも通りがかりの人に署名をお願いすると、快く応じてくれる人がいて、前は 10 筆集まりました。第 6 回は、2 月 20 日（土）午後 2 時から署名活動、3 時からパレードを予定しています。その後も毎月第三土曜日に実施する予定です。



戦争させない！ 9 条こわすな！ 世田谷連絡会

2014 年 9/25、2015 年 6/25 と 9/12 の世田谷区民集会&ピースパレードに加わった個人と団体は、9 月と 10 月の 2 回の会合を経て、これまでの 1 日共闘を発展させ、緩やかではあるが恒常的な表記連絡会を発足させました。賛同人や団体の自主性を尊重しながら時機に応じて交流や統一行動を行う組織です。事務局には、世田谷・九条の会のほか、世田谷地区労、世田谷区労連、世田谷 1000 人委員会からの代表が入っています。3 月と 6 月に区民集会を開くことを予定していますが、それに先立って 2 月 7 日（日）の 13:30-14:30 に、三軒茶屋、下北沢、千歳鳥山 3 駅で署名・宣伝活動を統一して行うことになりました。この行動には、安保法制に反対した区議へも参加を呼び掛けています。また 3 月 19 日（土）は午前 10 時から、区民会館前で集会を開き、梅が丘までデモ、その後日比谷野音で昼開始の総がかり行動実行委員会の集会に合流するという行動提起を準備しています。

九条の会東京連絡会

東京連絡会は、12/21 に交流会、1/25 に学習会と交流会を開き、それぞれ 30 名ほどが参加しました。練馬、杉並、あきる野、八王子などの九条の会での活発な活

動が報告され、全都の活動交流が図られました。1/25の学習会では日本平和委員会の布施祐仁氏が、安保法制成立後に初めて自衛隊が海外派遣されるかもしれない南スーダンでは、国連も認める政権派、反政権派部族の武装闘争があつて、イラク・サマワでの一触即発の事態がより現実味をもって懸念されると話されました。

当面の行動予定

- 2月7日(日) 世田谷連絡会統一行動
13:30~14:30 三軒茶屋・下北沢・千歳烏山駅頭で署名・宣伝行動
- 2月13日(土) 午前10時00分~12時00分 桜上水南地区会館
九条の会・まつざわ憲法学習会
講演 立正大学名誉教授 金子勝さん
- 2月16日(火) 2000万人統一署名全国一斉街頭宣伝行動
- 2月19日(金) 午後6時30分~ 議員会館前
総がかり行動実行委員会19の日行動
- 3月13日(日) 午後(予定) 沖縄学習会
憲法9条に愛され憲法9条を愛する烏山地域の会
- 3月19日(土) 午前10時00分から 世田谷区民会館前
戦争させない!9条こわすな!世田谷連絡会集会 集会後小田急線梅が丘駅までパレード、その後、日比谷野音での総がかり行動実行委主催の集会に合流
- 3月27日(土) 午前9時30分~11時30分 経堂南地区会館
桜丘9条の会 講演会 講演 菱山南帆子さん

事務局から

- ◆ 前号No. 39の「烏山地域の会」の記事のうち、8月15日の「玉音放送を流して」という宣伝行動は、「葵から菊」を主宰されている長谷川順一さんが呼びかけた行動でした。「地域の会」会員が参加されたことは間違いありませんが、本ニュース編集者がWEB上に見出して記事にしたもので、関係者に大変ご迷惑をおかけしました。お詫びして訂正いたします。今後ニュース編集に関しては、事務局全体で責任を持ってあやまりのないようにしてまいりたいと思います。
- ◆ 世田谷・九条の会の事務局の家賃、電話料金、ニュースやちらしの印刷・配送・郵送は、皆さんからのカンパと事務所維持会費でまかなっています。必要であれば振込用紙をお送りしますので、お申し出ください。